

## 都市公園の土や砂から鉛検出



東京大学と国立環境研究所の研究で、80年代中頃まで自動車の排出ガスに含まれていた鉛が都市公園の土や砂場に積もり、現在でも汚染が深刻な状態になっていることが分かりました。2002年3月から6月に関東地方の公園25ヶ所、46地点から土や砂場の砂の鉛の量を分析したところ、手に付きやすい土砂(粒径0.15mm未満)で、平均46.7ppmの鉛が検出しました。

しかし、公園内の表土については、入れ替えやかき混ぜをしている砂場の砂(14地点で平均25.4ppm)よりも濃度が高く32地点で平均67.3ppmとなりました。今回、分析をした全46サンプルのうち、表土の6サンプルが150ppmを超え、最高249ppmの地点もありました。土壤汚染対策法では鉛の含有量が基準値の150ppmを超えた場合、汚染土の除去などの対策が必要としています。

また、研究グループは検出した鉛を原子レベルで解析したところ、20～30年前までガソリン添加剤に使用されていた鉛化合物と一致したことが分かり、排出ガスに含まれる鉛化合物が降り積もった由来であると結論づけました。研究者はすぐに健康被害が現れる数値ではないとしながらも全国的な調査や対策の必要性を指摘しています。

資料:2004年2月1日付 朝日新聞

生活環境箇所 稲垣裕子

The Knights of Environmental Science  
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2  
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817  
URL : www.knights.co.jp

### 事業内容

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析  | 5 土壤汚染対策法に基づく土壤汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明   | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定     |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理       |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査    | 8 委託試験・研究・開発          |

